

# 双葉町内の復興・復旧の取組状況 (平成31年1月23日時点)

資料1

## ③常磐自動車道双葉IC(仮称)整備

復興シンボル軸と合わせ広域道路ネットワーク形成のためのICの整備 (H29.6工事着手)



◀H31(2019)年度末供用開始予定▶

## ④復興シンボル軸整備(県)

双葉IC(仮称)から県道広野小高線を結ぶ道路の整備(約2,900m) (H30.11工事着手)

◀H31(2019)年度末暫定供用開始予定▶

## ⑨町営墓地(寺内前霊園)の整備

津波被災地域・中間貯蔵施設予定地等のための共同墓地の整備 (H30.5完成)



◀H30(2018)年6月から申込開始▶

## ⑥アーカイブ拠点施設整備(県)

震災・事故の記録・教訓等を広く国内外に発信する「学び」と「交流」の場として整備 (H31.2工事着手予定)



◀H32(2020)年夏開設予定▶

## 避難指示解除準備区域

再生可能エネルギー  
農業再生モデルゾーン (平成28年度)

## 特定復興再生拠点区域

## 帰還困難区域

## 双葉町農地保全管理組合設立

荒廃した農地を保全し、営農再開につなげていくことを目的に設立

◀H30(2018)年7月から活動開始▶

## まちづくり会社設立

復興・地域活性化等を目的とした地域密着型の公共性の高い、民間担い手組織としてまちづくり会社を設立予定

◀H31(2019)年度当初活動開始予定▶

## ⑧駅西地区生活拠点整備

住宅団地等の整備と生活関連サービスの提供に向けた環境整備 (H30.11実施設計、地権者等への説明)  
・官民複合施設 (H30.10基本構想策定着手)  
・住宅施設 (H30.12基本構想策定着手)

◀H34(2022)年度居住開始目標▶

## ②JR双葉駅自由通路等整備

新市街地と既存市街地を結ぶ東西自由通路の整備と駅改良(橋上駅舎化) (H30.8工事着手)



◀H31(2019)年度末供用開始予定▶

## ①中野地区復興産業拠点整備

事業再開や企業誘致の受け皿としての事業用地の整備(約49.6ha) (H30.1工事着手)



◀H30(2018)年度下期一部供用開始予定▶

## 【企業立地の状況】

- 立地協定済…2件
- 現在約20社と立地協議中(H30.11末現在)

## ⑦復興祈念公園整備(国・県)

犠牲者への追悼と鎮魂、復興への強い意志を発信する場として整備 (H30.7基本設計着手)

◀H32(2020)年度一部開設予定▶

## ⑤産業交流センター整備

就労者等のサポート施設、来訪者サービス施設として整備(コンビニ、カフェ、レストラン、物産販売、貸事務所、会議室、休憩室など) (現在設計中、H31.3工事着手予定)



◀H32(2020)年夏開設予定▶

## インフラ復旧の取り組み状況

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 道路    | 応急復旧済、順次災害復旧工事          |
| 上水道   | 被害状況調査/順次復旧工事(中野拠点優先)   |
| 下水道   | 被害状況調査/全体計画・事業計画策定中     |
| 電気    | 被害状況調査実施/順次復旧工事(中野拠点優先) |
| 電話・通信 | 被害状況調査実施/順次復旧工事(中野拠点優先) |